

同期会の集まり

25回目を迎える同期会



▲平成17年6月九段会館に集う

昭和17年入学の旧2回3回生の同期会を毎年6月、会場は九段会館と決めて開いている。今年で25回目になるが、毎回25名前後が集まる。平成5年から秋に1泊2日の旅行が催されるようになり、昨年は伊豆今井浜で旧交を温めた。

巨理先生が仙台でご健在とわかり、平成4年の九段会館の同期会にお招きした。以来数回ご出席いただいた。また平成5年の福島高湯温泉、平成11年の天童温泉、平成15年の花巻志戸平の旅行にもご参加いただいている。90歳になられるが、うらやましいほどのお元気さである。

旧2・3回生の大半は今年77歳を過ぎる。未来より過去に思いをはせることが多くなったが、いざいざ懐かしく去来するのは城北の思い出である。

志学から従心へ、城北5期桜友会

道正 太郎 (5回生)



▲村原さん(旧鈴木)池末さん(旧原田)橋本さん(旧南場)西村さん(旧下澤)



▲木下さん(左)と飯島さん(旧八木)



▲根岸さん(左)と増田さん

昭和25年、6・3・3制により、女共学の第1期生205名、中学を卒業、本校、他校、社会へ。志学、15才の春「七年男女不交、不共食」と礼記にあるが、ごこない3年間。

爾来、55年、従心、70才。晨星落落泉下の友消息不明者、体調不良者等々、名簿と交遊を頼りに学友の尽力にて中高一体の学友会を開いた。女子14名を含む42名。恩師、島田欣一先生ご臨席。

「友情はお金では買えない、音信がなくとも、少年少女の往時に培った友情は学窓学外にも残っている」と世話役代表横山君(旧姓篠田)の重言葉。

遠方より、又、ご家族が付き添い、僅か1年の懐かしい友の顔、55年の歳月は遠かったが、目許や動作声色、風体に向時の面影を残していた。

中学時代のアルバムはない。記憶だけが残っているだけ。短い時間、ふつと語った至福の時間と満足し合えたと、次回は昼間に催したい、遠方の友のために、それが宿題。

7回生16名は、北九州の旅で6県を走破。今年も計画中!

恩田 正春(7回生)



恒例となりました7回生の旅行会は、昨年は、12月に有志16名が参加して思い出の多い北九州の旅となりました。

今回は、熊本空港をスタートとする2泊3日の旅で、鹿児島県を除く、6県を走破しました。思い出の場所として、神話の里高千穂峡、12月寒波で一面雪化粧となった草千里、湯量豊富な別府温泉と詩情あふれる湯布院、北原白秋ゆかりの地柳川の舟下り、美肌・嬉野温泉、平和公園グランド庭園と長崎市内観光など多くの場所を巡り、佐賀空港でゴールとなりました。

同期の旅行会は、沖縄、四国、九州と3年続きました。今年も継続する予定で、次回は南紀、能登半島を候補地としておられます。去る1月31日、写真交換会を行いました。

同期の皆様奮ってご参加下さい。

観戦記

「吼えろ城北球児たちの夏は修徳高相手に5回戦で弊えたが…」

遠藤 隆司(7回生)



私は昨年の夏、城北球児の野球を初めて観戦する機会を得た。東京予選2回目の5回戦進出で、勝てば8強という試合である。

7月23日、神宮第2球場に駆けつけたのはお昼一寸前、前夜お誘いの電話を下さった同窓会副会長の吉田正美さんの姿をすく見つけて、2人は城北応援団席を右手に見下ろすネット裏後方に陣取った。「吼えろ城北球児」の横断幕の下プラスチックが土気を鼓舞し、いやが上にも興奮が高まっていく。「今日の相手は前年度の覇者修徳ですから、相手に不足はないですね」と、吉田さんが私に語りかける。私は腹ごしらえのにぎりを口にはおぼりながら「フムフム…」と聞いている。そうこうするうちに試合開始のサイレンが鳴り渡り、城北一番の東君が第1球を思い切り空振りし、私は思わずにぎりをガブリ!

その東君は2球目をセンター前にはじき返すと、2番村山君は四球で出塁、ノーアウト一、

卒業生のお店訪問②

小宮一祝さんのお店(29回生)

親子2代で半世紀以上ジャズファンなら一度は訪ねてみたい! ジャズ喫茶「海」



▲左から、店長の小宮一祝さん。右へ初代の父一晃さんと演奏者たち

今回は小宮一祝さん(29回生)のジャズ喫茶「海」を紹介いたします。本格的なジャズが聴ける喫茶店として、知る人ぞ知る全国に知られた名店です。

場所は、東上線の朝霞駅南口から川越街道方面に7、8分ほど歩いた、旧川越街道に出る直前の左手に位置した、二層で3番北君はさすがにバントで二、三塁、4番井上君が左中間に二塁打して2点先取。もう、にぎりどころではない。

城北応援団席は興奮の渦に沸き返る。「幸先良いですねえ」と吉田さんも満面の笑顔。

ところがである。その裏修徳打線も火を噴き、瞬く間に同点とされ、打者一巡しても回が終わらない。

私はマウンド上のピッチャーが10番を付けているのを見て「エースはどうしたのですか」と、吉田さんにたずねる。「実は、この子がエースの2年生ピッチャー三宅君なんです。彼、今日は良くないですね。連投の疲れでしょうか」

やっと相手の攻撃が終わって6点。4回にも猛攻にあってもはや万事窮した。味方

名簿委員会より

3万人を超える卒業生をかかえる城北学園同窓会にとって、会員の住所管理はその活動の基本となります。6名の常任理事が名簿委員となり、約1年をかけて7回の打ち合わせと作業を行いました。

平成15年度版の同窓会名簿を作業のベースとし、先ず、この名簿の変更箇所を把握することにしました。2004年秋に発送された会報紙のうち宛先不明で返送されてきた、587通の住所の消し込みを行いました。その他、直接同窓会へ連絡があったもの、同期会、クラス会からの連絡等も消し込みの対象となりました。その結果、卒業生のうち、3分の1にあたる1万人強の卒業生の住所が不明であることが判明しました。

今後は、「個人情報保護法」の精神を尊重し、会員住所のデータベース化と不明者住所の発掘が必要となります。(石川雅弥記)

BOOK拝見 ノーサイド 加部吉男著 (6回生)

「えんちゃん、城北ラグビー部のOB仲間が書いたものだけど、これ読んで見てくださいね」

出版界時代の先輩でもある道正太郎さんからの声。「ノーサイド」の表題がある冊子に、私は一瞬ラグビー関連の本かと思ったが、中身はさにあらず。だが、私は巻頭の挨拶と巻末奥付けを見て内容の程はすぐ判った。

著者の加部吉男さんとは同じ世代である。私は城北を卒業して半世紀になるが、この日ほど母校城北が私の心の中に身近に甦ったこととはなかった。

有り難う、城北球児たちよ! また来季がある。私は、球児たちの地まぬ明日への挑戦を待っている。



上梓されたのがこの冊子。私がまず目を見張ったのは、表紙のスパイクにはじまって本文中に掲げた鳥獣、樹木等幾多の卓抜なるイラストだ。緻密な筆致は、まさに外科医のメスの手捌きに通じていると思った。それに付いた論評の面白さ。志ん生の大ファンだったと言っただけあって所々そのエスプリはお見事。「一寸の虫に5分のストレス」だの「燃えつき症候群のオシドリ」なんてヒット造語ナンバーワンもの。随想など、興味深く倦まずに熟読玩味した。(遠藤隆司)

第5回総会とホームカミングデイは 出席者250余名・盛会裡のうちに終了

昨年6月4日、招待対象期の19回生42名、20回生20名、41回生13名、42回生12名を加えた総勢250余名が賑々しく一堂に会した。総会では、杉崎完夫会長はじめ帖佐正雄校長、松沢猛男PTA会長の挨拶に続き平石正美副会長から16年度事業及び活動報告と17年度事業並びに活動計画が発表され承認された。総会写真、石川雅弥、懇親会写真、道正太郎



▲総会風景

総会の後、地下食堂では盛大な懇親会が持たれた。19回生の動員力には目を見張るものあり、18クラスを擁する団塊世代のパワーを見せ付けた。なお13回生の地道な同期会活動にも学ぶものがある。24年続けられている。7回、9回生の同期会は正にこのホームカミングに端を発している。会としては青春を語り、現在の姿を確認しあい、喜びの一時もやがて笹川俊明教頭の中締めとなった。会場では、同期ごとに声を掛けてはカメラを向ける道正太郎さんの真摯な姿があった。



▲ 13回生の皆さん

13回生は同期会を24年続けており、当日もその動員力に物を言わせ(？)、23名が集まりました。初めて参加してくれた友人もいました。そろそろ現役を引退し、悠々自適の友人もいれば、又「忙しい」を連発する個人事業主もいました。これを契機にさらに輪が広がることを期待しています。(石川 雅弥記)



○今年のホームカミングは21回生～26回生です。皆さんの力で各期の同期会活動を活発化させましょう。

▶ 19回生の皆さん

私ども第19回生の在学中は、1学年1003名、クラス数18と大所帯で、戦後生まれのベビーブームで中高併せて全校生徒数が3千名を超えていたのを覚えております。ホームカミングデイに出席して、一番感じたことは同窓生の名前と顔が一致せず、しばらくしてから思い出される始末。卒業から40年近く経ちますと、誰しも現役と言いつつも老いてゆくのは仕方がないことかも。それに引き替え、大谷、小野両先生の若々しさは！ このホームカミングデイの機会により諸先輩との交流も出来るようになりました。主催の役員、理事の方々の熱意に感謝いたします。今後の同窓会が發展されますことを願っております。(大月 正男記)

▶ 20回生の皆さん

同窓会総会に引き続きデイが行われた。当日は夕立もあり、天候には恵まれなかったが、盛大に挙行された。20回生として38年前に城北を巣立ち、大いに羽ばたいている者達が集まった。我々の1年先輩諸氏と20年後輩との、かつての城北生としての温かい雰囲気のパティーでした。高校当時の諸先生方も多数お見えになられ、私個人としては、貴重な時を過ごさせていただきました。社会科の小野征之先生、英語科の嶋田英俊先生、吉田正美先生、そして音楽の佐藤武久先生等、久しくお話を聞かせて頂きました。見知らぬ同期生でも、共に過ごした同時代の城北の話になると、お互い良く理解出来た思いがします。今回のホームカミングデイをきっかけとして、今後の人的交流の広がりとなれば幸いです。20回生も56歳になります。恩師の先生方がお若いということも多々ありました。それでも先生は先生、生徒は生徒なんですね。楽しい一時でした。有り難うございました。今後の母校の發展を切に願っております。(岩田 雅美記)

▶ 42回生の皆さん



私たちが42回生は卒業してから丁度15年が経過していました。ホームカミングデイの会場では当時お世話になった先生方がいらっちゃって15年ぶりだというのが私たちの当時の態度や部活などの事をよく覚えていてとても感激いたしました。また久しぶりに会う同級生、クラブの先輩後輩と思えば話ができ、高校時代に戻ったような気持ちになりました。さらに面白い事に、現役時代には話したことがない同期生や先輩と同じ城北卒業ということ、もしくは、仕事が同種ということでも話が盛り上がり、新たな輪が広がりました。まさに世代を超えたコミュニケーションであり、改めて城北の奥深さを実感しました。最後にこの様な素晴らしい機会をつくって下さった諸先生方をはじめ、同窓会役員の皆様にご感謝の意を表したいと思います。有り難うございました。また是非参加したいと思います。(橋本 一慶記)

でもいる限り、私の城北という刺青が消えることはないだろう。(内野 大郎記)



▲ 41回生の皆さん

ホームカミング(Homecoming)とは、本来「帰宅、帰郷」の意で、米国の大学同窓会を指していたが、1990年頃から日本でも盛んになってきた。しかし、もっぱら大学同窓会中心であったものを、杉崎会長が、先進的に高校の同窓会に取り入れ、いまでは毎年盛会を取っている。学歴は刺青のような物で、その看板を背負って人生に折り合いを付けてゆくものだと思う。そして、どの看板を自分史の中心に据えるか個人差はあるが、私は、人格・体格形成の創世記であった城北時代に据えている。ならばと熱き思いで常任幹事会の門を叩いてみると、そこには「身体を切る」と城北の血が噴き出す母校愛「そのもの大先輩だらけであった。少しでもその熱き思いを踏襲しようとお手伝いに奔走したものの、思うように人が集まらなかった反省はあるが、今でも母校にこうして駆けつける同期が1人でもいる限り、私の城北という刺青が消えることはないだろう。(内野 大郎記)

Total fashion shop
手タラ
北村 實 (16回生)
南キタムラ靴店
〒174-0071 東京都板橋区常盤台4-31-3
TEL 03-3933-3766 (上板橋北口正面)

24時間御用命受け承わります
八光運輸株式会社
代表取締役 関根忠夫 (9回生)
〒174-0046 東京都板橋区蓮根3-21-1
TEL 03-3960-7683(代) 休日・夜間 03-3961-8181
FAX 03-3960-7561 携帯 080-6556-3548

おのざわ歯科クリニック
ONOZAWA DENTAL CLINIC
院長・歯学博士 小野澤 智史 (36回生)
〒174-0071 東京都板橋区常盤台4-21-2
TEL 03-3931-8100 (上板橋北口)

再生資源取扱いサイクル業
(有)村田商店
代表取締役 村田 稔 (9回生)
〒106-0031 東京都港区西麻布2-11-8
TEL 03-3400-3349 FAX 03-3400-2528

中台ゴルフセンター
観全日本ゴルフ練習場連盟
副会長 高野昭夫 (8回生)
〒174-0044 東京都板橋区相生町19
TEL 03-3932-1194 FAX 03-5398-1990

城北

クラブ活動

文化部 体育部

柔道部

高校柔道部では、10年ほど前に団体戦に出られない時期が2年続きました。そのころ活動を再開した中学柔道部も、当初は5人戦に3人で出場したり、試合当日に欠席者が出て団体戦は棄権したりという状態でした。しかし6年前に始めて中学1年生が二桁入部し、部活動の形を整える基盤ができました。現高3はその時の中で、この学年が最上級生になった昨年度の秋から、そこそこの成績を残せるようになりました。

しかし戦績を見れば一目瞭然ですが、「支部ではベスト4まで」「都ではベスト16まで」が、大きな壁になっています。今後の目標はこの壁の突破です。



▲城北の正門左手



▲弓道部の練習風景

弓道部

現在の弓道部は、中高合わせて100余名が所属する大所帯です。都内の学校では規模の大きい本校の弓道場でさえ手狭なのですが、中高生とも上下の規律を重んじつつも和気藹々と

同窓会員の皆様へ

平成17年4月1日から全面施行の『個人情報保護法』により、同窓会が管理する個人情報データは更に一層の慎重さをもって取扱います。

- 1 個人情報データは、同窓会・学園関係者以外の第三者への提供はいたしません。
- 2 個人情報データの利用は、同窓会報・同窓会規約に定める総会及び同窓会が主催する各種の会議案内に限りです。
- 3 同窓会名簿の氏名等掲載は、発行の都度、ご承諾についてのご案内を申し上げます。
- 4 会員本人から申し出でにより、個人情報の第三者提供を停止します。

(城北同窓会常任理事会)

剣道部

創部53年の剣道部は中高合わせて52名の部員で、正しい剣道で東京都上位進出を目指し、先輩方の汗の染み込んだ



▲平成18年1月4日新年会(学校グラウンドにて)

これは夏合宿などで多くのOB諸氏が現役のために駆けつけてくださるおかげです。先輩諸氏から受け継いだ伝統を守りつつ、文武両道を目標に掲げ、今後とも精進させたいと思います。

今年度は、中学高校ともに今一歩の結果でした。能力的には、十分な力をもっていますので、今後、春の大会に向けて十分な走り込みをし、中学高校ともに上位進出を目指していききたいと思います。特に高校生は、3年ぶりの関東

国立大学				私立大学						
系	現	浪	計	系	現	浪	計			
北海道	1		2	3	4	3	14			
東北	1	2	4	7	2	5	10			
筑波	1		2	3		3	7			
埼玉		1	1	3	5	8	25			
千葉	1		8	2	11	2	5			
東京	2		6	6	14	2	4			
東京工業			14	6	20	2	2			
一橋	12	5	17	17	2	5	7			
東京外国語			0	0	17	14	31			
電機通信		3	3	3	9	6	8			
東京農工		5	5	10		2	2			
東京学芸		1	1	1	1	9	4			
横浜国立		4	4	4	5	5	19			
名古屋			1	1	7		7			
京都		2	1	3	3		3			
大阪			1	1	27	22	12			
神戸			1	1	1	1	2			
九州			0	0	8	8	16			
首都大学東京	1		7	1	9	1	1			
横浜市立		2	1	1	4	2	1			
その他国立	3	3	7	8	21	62	47			
内訳(人数)	東京理科 1 62 47 110									
東京医科歯科現(1)浪(1)	東京芸術現(1)浪(1)									
東京海洋現(1)浜松医科現(1)浪(1)	獨協 3 2 5									
大阪外国語現(1)国際教養現(1)福島県立医科現(1)	日本 6 15 9 5 35									
都留文科大学現(1)山梨現(1)防衛現(1)浪(1)	法政 3 9 7 6 25									
山形浪(2)鳥取浪(1)富山医科歯科浪(1)	武蔵 5 5 5									
佐賀浪(1)防衛医科浪(1)	明治 10 14 15 16 51									
他医歯薬系合格者	明治学院 3 3 3									
医現(5)浪(9)	立教 17 12 2 6 37									
歯浪(1)	早稲田 27 19 31 29 106									
薬現(1)浪(1)	同志社 1 1 1 2									
	立命館 5 3 3 8									
	その他私立 6 11 18 24 59									
私立大学合計	22	11	63	42	138	155	167	240	223	785
大学総計	文現177人	文浪178人	理現303人	理浪265人	総計923人					

ハンドボール部

平成17年度の戦績
関東大会予選B
インターハイ予選B
E.S.T.16
選B E.S.T.16
1回戦負

ラジオ部

アマチュア無線局を開設し、年3回の全国コンテストへの準備や訓練を日々行っています。
このコンテストとは、24時間の間に、どれだけ多くの地域や相手局と交信できるかを競い合うものです。現在部員数37名、OB約300名。最近の成績・平成16年度全市全郡コンテスト全国1位/平成17年度第2回高等学校A.R.D.F競技大会全国第6位

屋久島ものがたり

自然環境には、不便がなかった、喜びの日々だったが、1カ月ちよつとで埼玉に帰る。基会所巡り200件達成にあたり70件という課題が残っていたから。

無事課題を終えて、7月の始めに、再び屋久島に戻る。このころ東隣りの小島集落の岩川徳昭さんと知り合いになる。JAスーパー(Aコープ)の帰り道、岳南中学前のJA倉庫横の日陰で休憩中、座り話を来られた方が岩川徳昭さんだった。すっかり気に入られ、我が家の前の南他家の土地の雑草をモーターつきの機械をもつての草刈りや、また別の日には北側の他家との境界に石垣を組んでくれたりでお世話になった。



須見 半(元教諭)

我が家の斜め前(東南)の隣りは「TIME」という喫茶店だ。ご主人の泉さんとは毎日雑談するなかである。100mほど南には上原さんのお宅。ご主人は上原良介、長男は優介、次男は駿介、犬はB介、奥さんは裕美子さん。私はじいさん役だ。私の妻は1年に4回ばかり来島する。この3年2ヶ月の間、私の埼玉在住はわずか6か月だった。(18年1月3日記)

編集後記

●今年は例年に無く厳冬であった。ドカ雪もあった。東北の雪に埋もれた老人たちが自衛隊の力を借りて雪下ろししてもらい、明るい笑顔を取り戻したというニュースは印象に残った。過疎の村が老人パワーで守られている現実を知った。●城北同窓会も老人パワーが頼りというのも真実である。本格的に同窓会活動が始まってやっとな6年経つ。僅か4名足らずのメンバーが守り抜いた証でもある。14名の理事が就任し、活性化に

項目	16年度予算	16年度決算	差異
前期繰越金	92,786,769	92,786,769	0
収入			
平成15年度卒業生会費	3,790,000	3,790,000	0
平成15年度名簿代	1,705,500	1,705,500	0
名簿代	1,000,000	1,898,830	-898,830
銀行利息	5,000	772	4,228
雑収入	320,000	80,000	240,000
収入合計①	6,820,500	7,475,102	-654,602
支出			
人件費	340,000	356,000	-16,000
交通費	180,000	199,800	-19,800
会議費	500,000	493,188	6,812
総会費	1,000,000	932,905	67,095
会報印刷費	1,000,000	971,565	28,435
会報発送費	2,200,000	2,207,835	-7,835
印刷製本費	100,000	65,553	34,447
通信費	160,000	110,814	49,386
雑費	30,000	12,221	17,779
予備費	1,000,000	52,500	947,500
支出合計②	6,510,000	5,401,981	1,108,019
①-②	310,500	2,073,121	-1,762,621
次期繰越金	93,097,269	94,859,890	-1,762,621

項目	17年度予算	16年度予算	差異
前期繰越金	94,859,890	92,786,769	2,073,121
収入			
卒業生終身会費	3,930,000	3,790,000	140,000
卒業生名簿代	1,768,500	1,705,500	63,000
名簿代	50,000	1,000,000	-950,000
銀行利息	0	5,000	-5,000
雑収入	20,000	320,000	-300,000
収入合計①	5,768,500	6,820,500	-1,052,000
支出			
人件費	300,000	340,000	-40,000
交通費	170,000	180,000	-10,000
会議費	500,000	500,000	0
総会費	1,000,000	1,000,000	0
会報印刷費	1,000,000	1,000,000	0
会報発送費	2,300,000	2,200,000	100,000
印刷製本費	100,000	100,000	0
通信費	150,000	160,000	-10,000
慶弔費	100,000	0	100,000
備品購入費	600,000	0	600,000
雑費	30,000	30,000	0
予備費	100,000	1,000,000	-900,000
支出合計②	8,350,000	6,510,000	-1,660,000
①-②	-581,500	310,500	-892,000
次期繰越金	94,278,390	93,097,269	1,181,121